

甲佐町議会だより



清流

第198号

令和8年(2026)8月17日発行

発行 甲佐町議会

発行責任者 議長 宮本 修治

6月定例会

6月定例会審議結果…………… ②～④

そこが知りたいQ&A…………… ⑤

一般質問(4人)ここが聞きたい… ⑥～⑨

未来へのつばさ、全員協議会…………… ⑩

梅雨明けて花びら輝く花菖蒲

令和8年第2回(6月)定例会

6月定例会は、6月12日に開会し16日までの5日間の会期で開催した。

上程された案件は、諮問案件1件、承認案件6件、報告案件3件、工事請負契約の締結2件、令和8年度一般会計及び介護保険特別会計補正予算、その他の案件で審議の結果、すべて原案のとおり可決した。

一般質問には、4議員が防災、物価高騰対策、補助金、学校などについて活発な議論を展開した。

審議結果

区 分	議 案 名	審議結果
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任と 答申
承認第3号	専決処分の報告及び承認について (専第2号 甲佐町税条例の一部を改正する条例)	承 認
承認第4号	専決処分の報告及び承認について (専第3号 甲佐町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承 認 (反対3)
承認第5号	専決処分の報告及び承認について (専第4号 令和7年度甲佐町一般会計補正予算(第11号))	承 認
承認第6号	専決処分の報告及び承認について (専第5号 令和7年度甲佐町国民健康保険特別会計補正予算(第6号))	承 認
承認第7号	専決処分の報告及び承認について (専第6号 令和7年度甲佐町介護保険特別会計補正予算(第5号))	承 認
承認第8号	専決処分の報告及び承認について (専第7号 令和7年度甲佐町後期高齢者医療特別会計補正予算(第6号))	承 認
報告第1号	令和7年度甲佐町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報 告
報告第2号	令和7年度甲佐町介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報 告
報告第3号	令和7年度甲佐町水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報 告
議案第34号	工事請負契約の締結について	可 決
議案第35号	工事請負契約の締結について	可 決
議案第36号	令和8年度甲佐町一般会計補正予算(第1号)	可 決
議案第37号	令和8年度甲佐町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可 決

審議した主な議案等の内容は次のとおり。

諮問関係

諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦（答申）

河野 史郎 氏（白旗地区）



河野 史郎 氏

現人権擁護委員である河野史郎氏が令和8年9月30日に任期満了となることから、改めて候補者として推薦することへの諮問。

審議の結果、適任であると答申。

専決処分

承認第3号 甲佐町税条例の一部を改正する条例

地方税法等の改正に伴う改正。

主な改正は、住民税では、給与所得控除額の引き上げ、扶養親族等の所得要件の緩和等。固定資産税では、家屋及び償却資産の免税点の見直し、各種特例措置の拡充。

軽自動車税では、軽自動車税環境性能割の廃止、グリーン化特例（軽課）の延長等。



承認第4号 甲佐町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

主な改正は、基礎課税額に係る課税限度額の引き上げ、低所得者に係る減額措置の拡充等。

承認第5号 令和7年度甲佐町一般会計補正予算（第11号）

1億9326万9千円を減額し、総額を182億8013万2千円としたもの。主な補正は、保育の実施

費の増額及び交付金、補助金等の歳入の確定に伴う補正。



承認第6号 令和7年度甲佐町国民健康保険特別会計補正予算（第6号）

6472万2千円を減額し、総額を13億4970万8千円としたもの。主な補正は、保険給付費等交付金の確定に伴う補正。

承認第7号 甲佐町介護保険特別会計補正予算（第5号）

74万1千円を減額し、総額を17億4965万8千円としたもの。主な補正は、諸収入の確定に伴う補正。

報告関係

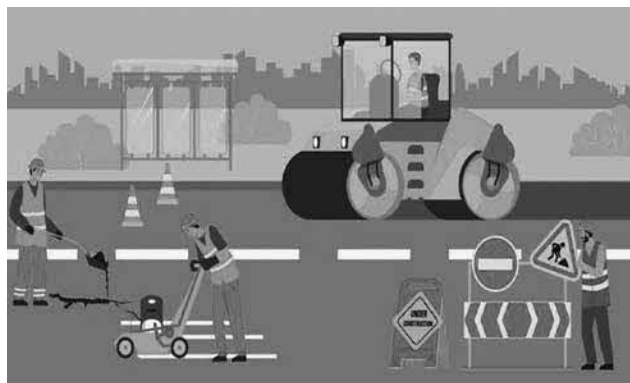
報告第1号 甲佐町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

令和7年度に予算化し、年度内の事業完了が終了せず、次年度への予算の繰り越しを行い、事業完了を目指すもの。

主なものは、道路新設改良事業や災害復旧事業。

承認第8号 甲佐町後期高齢者医療特別会計補正予算（第6号）

41万3千円を追加し、総額を2億2173万7千円としたもの。歳入歳出額の確定に伴う補正。



**報告第2号 令和7年度甲佐町介護
保険特別会計繰越明許費繰越計算書
の報告**

令和7年度に予算化し、年度内の
事業完了が終了せず、次年度への予
算の繰り越しを行い、事業完了を目
指すもの。内容は、地域包括支援シ
ステム改修事業。



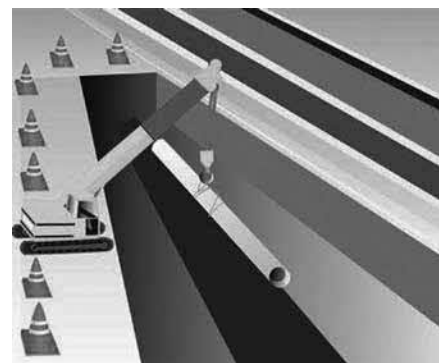
**報告第3号 令和7年度甲佐町水道
事業会計予算繰越計算書の報告**

令和7年度に予算化し、年度内の
事業完了が終了せず、次年度への予
算の繰り越しを行い、事業完了を目
指すもの。内容は、町道大町塔ノ木
線配水管布設工事（一工区）及び
町道八丁吉田線配水管布設工事。

工事請負契約関係

**議案第34号 工事請負契約の締結に
ついて**

令和7年8月豪雨災害で被災した
西寒野地区の鹿生田堰頭首工の災害
復旧工事の契約を締結。



被災した鹿生田堰

**議案第35号 工事請負契約の締結に
ついて**

道路メンテナンス事業町道上早川
船津線甲佐大橋の補修工事契約を締
結。



補修する甲佐大橋

予算関係

**議案第36号 令和8年度甲佐町一般
会計補正予算（第1号）**

5286万7千円を追加し、総額
を149億1929万7千円とした
もの。主な補正は、人事異動に伴う
職員人件費の調整、障がい福祉業務
及び子ども医療費助成並びにひとり
親家庭等医療費助成オンライン資格
確認システム改修委託料、農業関係

補助金の増額補正等。



**議案第37号 令和8年度甲佐町介護
保険特別会計補正予算（第1号）**

117万2千円を追加し、総額
16億6395万8千円としたもの。
主な補正は、介護保険システム改
修業務委託料の増額補正。

そこが 知りたい



6月定例会 質疑から

農業共同利用施設再編集約・ 合理化支援事業について

Q この事業の内容について。

A JAかみましきの老朽化に伴う施設再編集約合理化である。

まず米麦用乾燥施設として、1時間当たり29トンの乾燥機が2基、集配塵施設として米麦大豆集塵装置が1基、荷受施設として1時間当たり25トンの計量器が1基、その他踏み込みホッパー、灰わら用送風機がはいっている。

総事業費として、11億5610万円で補助率として国が2分の1、県が10分の1となっている。

JAかみましきの本所が本町にあり本町を通じて申請をされている。



カントリーエレベータ

浸水対策事業について(繰越分)

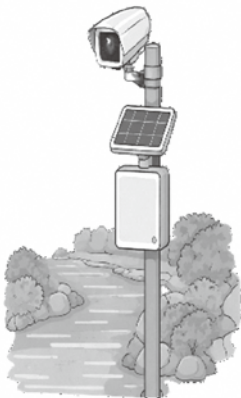
Q 繰り越される浸水対策事業の場所と内容は。

A 事業としては、馬門川と横田地区の浸水対策並びに、河川監視カメラ設置と下横田排水ポンプ場の改修工事を繰り越し事業として予定している。

馬門川の浸水対策事業については、ため池の改修工事などの関連事業。横田地区については、大井手川の河道堀削を行っているが、繰越しで行っている。

河川監視カメラについては、全体で7箇所予定しており現在4箇所が設置済で、残り3箇所を繰り越しでおこなっている。

下横田の排水ポンプ場の改修工事については、緑川団地奥にあるポンプ場の固定配管工事に関連する工事を行っているところである。



河川監視カメラ

西寒野地区鹿生田堰頭首工 災害復旧工事について

Q 現在どのような形で用水を取られているのか。

A 昨年、8月被災した際には九州農政局からポンプを2台設置し河川には大型土嚢を設置して給水している。



被災した鹿生田堰頭首工

Q 管理道路の補修部分でパラペットコンクリート舗装とはどうゆう舗装か。
また、最終的な完成時期は。

A パラペットは建物等の外周部に設けられる立ち上がった壁による舗装である。

最終的な完成時期については、来年の3月12日を予定している。

一般質問

1回の雨で被害額30億6千万円

町長 南谷川の放水路の整備など、効果的な対策を検証



鳴瀬 美善 議員

「防災・減災」災害から生命と暮らしを守る対策

問 令和7年8月の豪雨災害から一年を迎えようとするなか、復旧状況や被害額は。

荒田総務課長

建設課、農政課、社会教育課の分と応急復旧費、災害ごみの処理に関する経費、災害救助費等を含めると、概算で30億6千万円になる見込み。

問 災害復旧は原形復旧が基本と聞いている。1回の雨でこれだけの被害が出る。先の災害を教訓とし、実施した事業や今後の防災計画、内水被害対策等について、町長の考えは。

甲斐町長

近年の豪雨災害は、想定を超える災害を想定しなければならぬ時期が来ていると感じている。内水対策事業として、南谷川の放水路や調整池の整備など、効果的な対策を検証し進めていく。

問 自主防災組織は「共助」の中心的な役割を担う組織と認識している。しかし、若い世代の減少や流出、高齢化の進展など、今後の組織のあり方について、町の考えは。



西寒野自主防災組織のAED講習会の様子

甲斐町長

従来の形での活動継続が難しくなってきた地区があることは認識している。地域の実情に寄り添いながら、持続可能な体制作りを進め、共

助力の維持、強化に努めている。

問 非常用持ち出し袋の常備の必要性や重要性について、町の認識は。

佐藤危機管理防災課長

非常用持ち出し袋の常備が災害時の安全確保に不可欠であるとの認識のもと、引き続き住民の自助力、公助に向けた取り組みを進めていく。

道路整備計画

問 県道三本松甲佐線上揚住宅前付近の状況とバイパス化の進展は。



県道三本松甲佐線上揚住宅前付近の状況

白石建設課長

甲佐神社から上流の上揚住宅までは、令和11年度の完了



こちらから全質問を視聴いただけます。

問 宮内地区を例として、孤立が懸念される集落への防災インフラ整備の考えと、孤立した際の集落へのアクセス対策は。

白石建設課長

災害時に迂回路を確保することは大変重要なことと認識している。現在、宮内地区において、緊急時の避難ルートとなる迂回路の整備が可能か十分に調査・検討を行っている。

佐藤危機管理防災課長

自主避難所となる公民館に非常食や飲料水など地域の実情に応じ、備蓄品の確保を図り、地域拠点の強化を進める。

一般質問

猛暑に対する対応策は

町長 エアコン設置補助は検討中



佐野 安春 議員

問 年々猛暑が続く町民の生活や健康を脅かしているが、町としての具体的対策は。今年の気象庁の予測では平均気温が全国的に平年を上回るとある。今年の夏もここ数年のように猛暑が続く恐れがあると報道されている。

2024年8月は猛暑日連続27日で甲佐町は全国的にも気温が高い町と報道されている。

全国的にも異常な高い気温が続いて多くの人が耐え難い環境の中で生活されているが、自治体の中には猛暑により亡くられる方も出ている状況に手を指し伸ばしているところも出ている。

熱中症による死者数は全国で2023年が1,651人、2024年が2,160人と年々増加している。町として猛暑に対する対応策は考えているのか。

高齢者世帯のエアコン設置状況を調査し、設置希望があれば未設置の世帯に支援を行うことは考えられないのか。

甲斐町長

町は近年異常な暑さに直面しており、猛暑から町民の生命と暮らしを守ることは町として重要な課題であると認識している。

そのため、熱中症予防に対する町民への周知活動や広報活動はしっかりと実施したいと考えている。

また、今後の具体的対策については佐野議員の意見もあったが、現在役場内で検討を重ねているところである。

ハード面・ソフト面の両面から町民の命と暮らしをこの猛暑から守っていくことが重要であると考えている。

エアコン設置補助について現在検討を重ねている項目の一つである。

今後、早期の事業構築に向けて取り組んでいきたいと考えている。



学校図書司書の増員を

問 学校図書司書の増員の問題は、これまで幾度となく議論を重ねてきたが、私も教育長も図書教育の方向性については変わらないと考える。共に学校図書司書の必要性は同じであると思う。学校図書司書を配置する時期の点で違いがあるように思う。

学校図書館活性化事業が進んでいるので、小学校は来年度までが事業計画になっていると思う。中学校は事業が終わるまで3年間はありますが、小学校から配置を進めていくことはできないのか。

蔵田教育長

これまで何度も学校図書司書の増員について質問を頂き大変恐縮している。これまで言ってきたように、学校における図書教育、読書教育、これは大変重要であるとの認識のもとに、小中学校における学校図書館図書標準冊数、この整備達成がまず優先的に言うべきことと考えている。

さらに、図書標準冊数の整備が完全に達成できた中で、図書管理システムによる図書の貸出・返却などの閲覧管理や資料管理、統計、帳票管理など図書管理業務の効果検証を行い図書司書の効果的な配置については、限られた教育予算の中で総合的に判断されるべきと考えている。

その他の質問として、物価高騰対策、生活者・事業者支援について。ラスパイレス指数の状況についての質問を行った。



こちらから全質問を視聴いただけます。

豪雨災害復旧状況は

白石建設課長 安全・安心な暮らしが守られるよう国に働き掛けていく



森田 精子 議員

問 小規模被災箇所等の不採択災害地の対応は。

白石建設課長

小規模な護岸の崩壊や道路の陥没、崩土や堆積土砂などを行った。採択条件にあたらな小規模の災害復旧については、災害復旧事業債を活用している。

上古閑農政課長

要件を満たさない箇所については、自力復旧事業として昨年度未申請が無いよう回覧や防災無線など活用し、完了したと認識している。

今後、行政区などから相談があった場合は、重機借り上げなどで対応していく。

問 緑川本流水位上昇によるバックウォーターの影響分析は。

白石建設課長

昨年8月豪雨でも、緑川本川の中甲橋水位観測所において氾濫危険水位を記録したことから、馬門川からの水が本川に流れにくくなる影響があったのではないかと考えている。本川水位の上昇によって生じるバックウォーターの影響を小さくするためには、緑川本川の水位を下げる対策を行う必要があるため、国土交通省において近年の大雨で河道内に堆積した土砂の撤去など、本川水位を下げる対策を進めて頂く必要があると考える。

問 河川内に土砂や転石が堆積し浚渫等による河道断面の確保が必要では。

白石建設課長

河川管理者である国土交通省において、日常的な河川注視及び点検により堆積土砂を含め河川の状況を把握されている。昨年8月の豪雨時には、出水直後より被害状況等を把握するための、緊急調査が実施され、施設の機能に著しく支障となった堆積土砂・流木などの除去が迅速的に実施されている。出水の対策として

は、甲佐大橋周辺等で河道掘削や樹木伐採など実施予定と伺っている。
今後、地域住民の安全・安心な暮らしが守られるよう様々な機会を通して国会・国土交通省に対し働きかけていく。



土砂が堆積した緑川（運動公園付近）

船津地区河川防災ステーションの活用は

問 国から移管された防災拠点施設の今後の管理運営方針は。

白石建設課長

国土交通省との間で管理協定を交わしている。敷地内の管理については、草刈りや清掃・側溝の泥上げなど、すべて町が良好な環境の保全に努める事とされ、備蓄資材の調達については、国土交通省で行われる。

佐藤危機管理防災課長

様々な活用方法が考えられ、地域が一体で学習・体験することにより、自分達の地域を守る意識が育まれ、自主防災組織や消防団そして子ども達が一緒に参加できるように防災学習が実現するよう、国土交通省と協議を進めていく。

蔵田教育長

教育課程全体を通じた関連する教科単元の中や総合的学習など、教科横断的な教育内容として、現実的で実践的な防災教育を行っていく事が重要であると考えている。

今後とも地域の組織などと連携した防災教育に取り組んでいきたい。



こちらから全質問を視聴いただけます。

一般質問

農業・中小事業者のナフサ不足 による資材高騰、物価高対策を

町長 スピード感をもって適切に対応したい



井芹 しま子 議員

問 6月5日、ようやく国の物価高騰対応の補正予算が成立したが、自治体向けの重点支援交付金は1,000億円と、これでは深刻さを増す国民生活や事業者への支援としては問題だと考える。

町 町においても、農家や中小事業者は、ナフサ不足による資材不足、資材高騰の影響を大きく受けており、非常に厳しい状況にある。資金繰りの支援策がほしい等の声も出ており、いまこそ、ふるさと納税を活用し、支援策を講じるべきではないか。町としての対応は。

本田企画課長 町では、足元の資金繰り支援が重要であることから、即座に、地元事業者への支援策の検討に入り、県が創設した資金繰り支援に係る利子への助成制度を創設したが、さら

なる支援策についても協議を進めている。

甲斐町長

農家や中小企業、住民の皆様にとつて、コロナ禍以上の危機的状況と認識しており、実態把握をしたうえで、ふるさと納税基金の活用も視野にスピード感をもって適切に対応していきたい。

補助金制度のあり方について

問 町はこれまで、町の活性化や産業振興などの為に、積極的な補助金の活用で課題の推進を図っているが、近年、ふるさと納税の順調な伸びを背景に令和5年度補助事業件数が55件に対し、令和8年度は91件へと大きく補助金事業が拡大している。

一方、補助金は公金である為、執行にあたっては、補助金額に見合う効果や、公平性、公正性、透明性が問われるが、この点での町の取り組みは。

荒田総務課長

補助金の公平性、公正性、透明性は非常に重要な課題であり、町は文書で記録し、決

定過程を透明にし、補助金の執行状況をホームページ、広報誌で決算状況について報告している。

問 住民が平等、公平に補助金を受けるために、各事業の補助金要綱などの事前公開はきちんとされているのか。

荒田総務課長

事業次第では、要綱に基づき広報誌などを通じて周知している。

問 各事業によって補助率が違うが、補助率については明確なルール作りが必要ではないか。

荒田総務課長

現在のところ、明確なルールはないが、事業の規模や収益性、地域貢献度などを元に算定している。

問 事業者向けの補助金は、民間活動への公費投入であり、その必要性や効果、公益性について説明責任が求められる。

補助金の効果及び検証についてどのように進められているのか。

荒田総務課長

担当課での実績や住民等からの意見も踏まえ、効果検証を行い、町全体としても企画会議等で検証を行っている。

問 より町民に開かれた補助金制度にする為に、第3者も含めた審査会をつくるべきではないか。

荒田総務課長

効果検証を内部で行うことで、直近の施策における実績を元にした迅速なフィードバックが可能となり、継続的なモニタリングや評価を行うことができ、当該施策の課題を早期に発見し必要に応じて改善策を講じることができると、外部による審査会の設置はしない方向で進めていきたい。



こちらから全質問を視聴いただけます。

未来へのつばさ

2年早くなった選挙権

甲佐高等学校 3年

小泉

達暉 たつき

平成28年に選挙権の年齢が「満18歳以上」になったことで、20歳から2年間早くなりました。

私は、選挙権が2年間早くなったことで、選挙に対して、今まで以上に自分たちで物事を決めるということを実感できると思いました。

18歳と19歳が選挙に行くことができて、もっと国民の声が反映され、政治がもっとよくなればいいなと思います。

私は、選挙について、とても大切なことであると思っています。ある人に聞いた話がとても印象に残っています。例えば飲食業などは、売り上げれば売り上げた分だけお金が入ります。これに対して、看護の仕事の報酬は決まっています。しかし、実際に看護関係の人が選挙に出馬し、当選することによって、その待遇改善が期待されるということでした。

このように、まじかで人の人生が変わっていくのが選挙だということです。それはすごいことだと思います。

2年間早くなった分、自分の人生もより早く良くなるができるようになったと考えます。そして、私は、しっかりと選挙に行こうと思います。私は、選挙権が2年間早くなってとてもよかったです。

6月12日開催全員協議会協議事項

① 熊本市新野球場（仮称）整備移転候補地等の提案について

熊本市が提案募集をしている県営新野球場候補地に甲佐町が立候補し、提案書を提出する旨の説明。候補地は田口台地とし、提案書提出後に県の審査を受け、9月以降に候補地が決定される。

② 「甲佐町新型インフルエンザ等行動計画」の改定について

甲佐町が現在策定している本計画の改定内容の説明。

③ 上益城廃棄物処理施設整備事業について

上益城5町で進めている御船町上野地区に整備予定である「上益城廃棄物処理施設整備事業」の進捗状況及び今後のスケジュール等の説明。

④ 甲佐町農業ビジョンの作成について

甲佐町の基幹産業である農業の今後の指針となる「甲佐町農業ビジョン」を作成することの説明。

町民の皆様の議会傍聴をお待ちしています。お気軽にお越しください。

※令和8年第3回（9月）定例会は、9月11日開会の予定です。

編集後記

朝刊を見ると、社会面や政治面、スポーツ面と同時に最近必ず見えてしまうのが「きのうの気温」。甲佐町は県内で気温の高さが何番目かその他の観測地点と見比べてしまう。一番との結果を見ると何故かしら「やつぱりそうか」と妙に納得してしまう。

甲佐町は近年、県内どころか全国的にも気温の高い町として有名になっている。

観測地点の阿蘇はわが町より5度くらい低い。いくらか過ぎしやすくなるかと思えば高森町は熱中症による健康被害を防止し高齢者等の命を守るためエアコン設置費用の一部を補助するとの記事が……

わが町も考えねば。

（佐野 安春）

議会広報編集特別委員会

委員長	甲斐 良二
副委員長	佐野 安春
委員	森田 精子
委員	鳴瀬 美善
委員	田中 孝義



甲佐町

議会だより

第198号 2026年8月17日発行

この議会だより「清流」は再生紙を使用しています。